

75歳医療保険引き上げへ

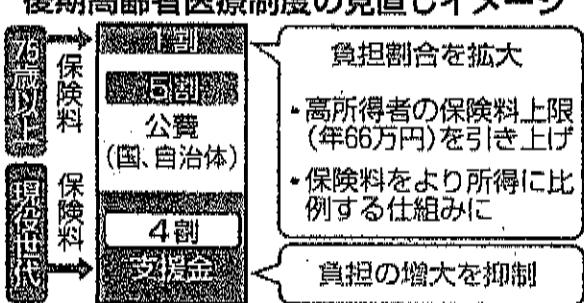
厚労省案提示 中高所得層の負担増

厚生労働省は二十八日、社会保障審議会（厚労相の諮問機関）の部会を開き、七十五歳以上が加入する後期高齢者医療制度の保険料を引き上げる見直し案を示した。一〇一年にかけて

七十五歳以上が急激に増え、医療費が一層膨らむ見通し。七十五歳以上の中高所得層に負担増を求めることで、制度を支えている現役世代の負担抑制につなげる狙い。年末までの決着を目指す。

部会では、委員から「『能負担』の仕組みを進めるべきだ」など賛同意見が相次いた。来年の通常国会に

関連法改正案を提出する方針だ。
約1%の高所得者が払う年間上限額（現行六十六万円）を大幅に増やす。まだ得者の負担上限額の設定次第で、どれだけ中間所得層が影響を受けるかが決まる」と話し、慎重に検討を進める考え。



後期高齢者医療制度の見直しイメージ

約1%の高所得者が払う年間上限額（現行六十六万円）を大幅に増やす。まだ、